

笠松町地域公共交通会議 議事概要

日 時	令和7年1月23日（木） 14:00～15:00
場 所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	古田会長 山田(康)委員(委任者) 宮部委員 西村委員(委任者) 木村委員 山田(忠)委員 松原委員 加藤委員 家田委員 山田(慎)委員 正村委員 児玉委員 瀬瀬委員 野田委員(委任者) 村井委員 田島委員 堀委員 (以上17名)
欠席の委員	なし
議事概要	

① 町長あいさつ

現行の体制で20年以上運行している笠松町公共施設巡回町民バスはドライバー不足等の問題により、減便を伴うダイヤ改正を行う必要がある。ただ、町の人口と対比すると大変多くの方に利用いただいているバスだと認識している。そのため、単なる減便ではなく、利便性を損なわないようダイヤ改正を行いたいと考えている。委員の皆さまには忌憚のないご意見を賜りたい。



② 議事

【第1号議案】笠松町公共施設巡回町民バスダイヤ改正及び新ルート設定について

○【資料1】にて、以下の内容について説明。

バスの現状と課題、課題解決のためのダイヤ改正内容の説明。現在より1便の時間が長くなること、平日最終便や「下羽栗会館」バス停の廃止、土曜日の運行をバス2台運行から1台運行へ移行すること、朝の通勤・通学時間の利便性維持のため「朝ダイヤ」を設定することを説明。この「朝ダイヤ」による路線の変更点の確認。

○【資料2-1～2-4】にて、以下の内容について説明

【資料2-1】にて、新規時刻表の説明。【資料2-2】にて、「朝ダイヤ」に伴うルート変更の詳細な説明。【資料2-3】にて、現状の路線図と「朝ダイヤ」路線図との比較により、ルート変更点を可視化。【資料2-4】にて、「朝ダイヤ」専用の「笠松中学校前(朝ダイヤ)」バス停の新設と安全面への配慮から「円城寺(下門間行き)」バス停を移動する説明。

【質問・意見】

○岐阜運輸支局 山田(慎)委員より

→ 笠松町だけでなく、ドライバー不足は全国で同様に問題になっている。ドライバー不足は今に始まったことではない。ドライバーになりたいとする若手が減ってきている。これにより更に業界での高齢化が進み、悪循環が生まれている。また、バスの運行を行う以上、過密なダイヤ是正など安全面に配慮していただくのは大事なことであり、行ってほしい。利用者である住民等には安全性に配慮してのダイヤ改正だと十分に説明を行ってほしい。

○岐阜県バス協会 木村委員より

→ ドライバーの確保にはバス協会も動いている。県内路線バスの運賃を26年ぶりに値上げするなどドライバーの賃金上昇に繋がる動きを行っている。また、ドライバー候補として、自衛隊の退職者や東京での移住を含めたドライバー対象の説明会を行っている。外国人が運転手のなり手として期待しているが、まだまだ障壁が多く、実用とまでは至っていない。

【採決】

第1号議案…出席委員の全会一致にて原案のとおり可決。

→協議が調ったこととして、事務局より「朝ダイヤ」設定に伴い路線の登録変更の申請を行う。

③ その他

チョイソコカラタンの現状報告

- [資料3]にて、チョイソコカラタンの現状について月ごとの登録人数、利用者数、利用回数をもとに報告。

【質問・意見】

- 更なる利便性を向上させるため、より多くの方に利用してもらえよう、周知を行ってほしい。